

第6号 その他

(1) 1月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. メンタルヘルスセミナー [11月4日(金)・室蘭市、18日(金)・留萌市]について(後藤常任理事)

北海道地域自殺対策強化事業の一環として、北海道から補助を受け実施している本事業について、特に若年層に向けた内容とし、地域住民を対象に室蘭市(参加者135名)と留萌市(参加者82名)で開催した。

2. 日医理事会報告(長瀬会長)

講習会管理システム2016年度開発(会員情報との連携機能開発)の件、今年度学校保健講習会開催の件等につき協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、原子力発電所の再稼働に関する考え方について、医師は「公務員」という考え方について、重大事故のリピーターへの指導について等の意見交換を行った。

3. 日医各委員会報告(長瀬会長)

(1) 医療政策会議 [12月21日(水)] について (長瀬会長)

議長に小職、副議長に慶應義塾大学商学部・権丈教授が指名され、会長諮問「社会保障と国民経済～医療・介護の静かなる改革～」についてのフリートーキング等があった。

4. 外部各委員会報告

(1) 北海道感染症危機管理対策協議会・麻しんおよび風しん対策専門会議 [12月19日(月)] について(三戸常任理事)

委員会から会議へ名称変更したことに伴う運営要領改正の説明があり、その後、座長に小職が選出された。麻しん・風しんの発生状況ならびに予防接種の状況の報告の後、意見交換を行

った。

(2) 北海道感染症危機管理対策協議会 [12月19日(月)] について(三戸常任理事)

座長に旭川医科大学病院長・平田委員が選出された。先に開催した感染症流行調査専門会議ならびに麻しんおよび風しん対策専門会議の開催結果の報告の後、意見交換を行った。その後、十勝管内における高病原性鳥インフルエンザの疑似患者の発生に関する情報提供があった。

(3) 第2回離職看護職員相談事業協議会 [12月20日(火)] について(深澤副会長)

看護職員の離職時届出制度を活用し再就業支援を推進するため、北海道ナースセンターの体制整備などの今年度事業の実績ならびに登録者へのアンケート調査について報告があり、来年度に向けて復職支援プログラムの策定などについて検討した。

(4) 第20回北海道救急業務高度化推進協議会 [12月20日(火)] について(目黒常任理事)

北海道救急業務プロトコルの一部改正、北海道防災航空隊プロトコルの一部改正、MC関係講習の見直し、指導的救急救命士制度実施要綱の一部改正、北海道救急搬送受入実施基準協議会の設置に伴う北海道救急業務高度化推進協議会設置要綱の一部改正等の5つの事項に関しそれぞれ協議が行われ、ワーキンググループでの検討結果どおりすべて承認された。その後、住田委員およびワーキンググループ・上村委員より、気管挿管実習におけるビデオ硬性挿管用喉頭鏡の中にマックグラスを含めるかどうか位置付けをはっきりさせるべきとの意見があり、事務局で整理することとなった。

北海道医師会は、 北海道に在住するすべての医師が利用できる 女性医師等支援事業を 推進しています。

北海道医師会は、医師の育児支援や仕事と家庭の両立を支援するために現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。この窓口は、北海道に在住するすべての医師が利用できます。詳しくは、下記専用ホームページをご覧ください。

●相談窓口 ●育児支援 ●復職研修支援 ●介護支援

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください 「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>

●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 FAX 011-231-7272 E-mail josei-dr-shien@m.dou.jp

北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>

男性医師の
アクセス歓迎

Doctor
Support

